

地球環境のために 富士通グループの環境活動



1935年の創業以来、「自然と共生するものづくり」を追求してきた富士通グループは、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけ、FUJITSU Wayの企業指針「社会に貢献し地球環境を守ります」に基づき、環境経営に取り組んでいます。

また、あらゆる事業領域で継続的に環境活動を実践していくために、理念と行動指針を明文化した「環境方針」、すべての環境活動のベースとなるコンセプト「Green Policy 21」、2020年をターゲットとする中期環境ビジョン「Green Policy 2020」を定めるとともに、グリーンICTによる環境負荷低減プロジェクト「Green Policy Innovation」と「第6期富士通グループ環境行動計画」を推進しています。これらを通じて、自社グループのみならずお客様や社会の環境負荷低減に貢献しています。

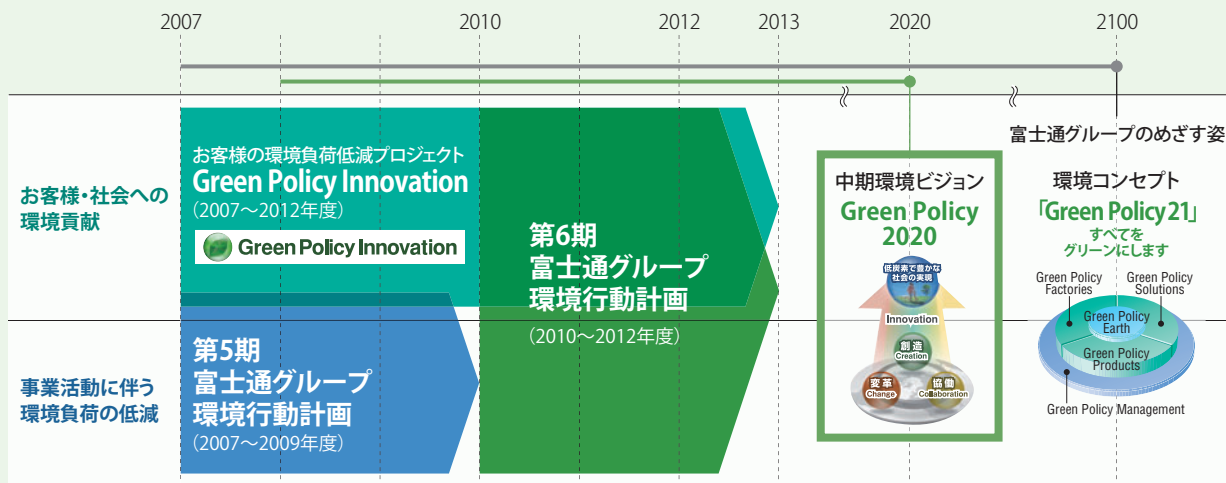
- 
 ●富士通グループ環境方針
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/approach/policy/>
- 環境コンセプト「Green Policy 21」
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/approach/concept/>

グローバルICT企業として、「自社の事業活動」と「お客様・社会」の環境負荷の低減に挑戦する

G8サミットで「2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量半減」が目標として掲げられるなど、低炭素社会の実現は人類にとって21世紀最大のテーマの一つとなっています。そのために必要なのは、社会全体で環境に配慮した働き方や暮らし方を追求していくことであり、それらをさまざまな側面から支えるICTの重要性がますます高まっています。

富士通グループは、先進的な環境技術を開発するとともに、それらを適用した製品やサービスを世界に普及させていくというグローバルICT企業としての使命を追求し、自社の事業活動における環境負荷低減はもちろん、お客様・社会の環境負荷低減に広く貢献していきます。

富士通グループの環境活動体系



環境活動のあゆみ

- 1935年 川崎工場建設時、初代吉村社長の提言により庭園様式を取り入れる
- 1938年 川崎工場竣工
- 1972年 各工場に環境管理課設置
- 1989年 環境対策委員会発足
- 1991年 環境技術推進センター発足
- 1992年 富士通環境憲章制定
- 1993年 第1期富士通環境行動計画策定
- 1997年 国内全製造工場にてISO14001認証取得完了
- 2000年 環境本部発足
- 2002年 富士通グループ環境方針制定
- 2006年 海外グループ会社を含めたISO14001のグローバル統合認証を取得
- 2007年 グリーンICTによるお客様の環境負荷低減プロジェクト「Green Policy Innovation」をスタート
- 2008年 中期環境ビジョン「Green Policy 2020」策定
- 2009年 富士通グループ生物多様性行動指針策定
- 2010年 第6期富士通グループ環境行動計画策定

低炭素で豊かな社会の実現をめざす 中期環境ビジョン「Green Policy 2020」


「Green Policy 2020」は、2008年7月に策定した、低炭素で豊かな社会の実現に向けて、富士通グループが果たすべき役割と方向性を示した中期環境ビジョンです。

Green Policy 2020では、革新的な先端テクノロジーやビジネスソリューションの「創造」、お客様やパートナーなどの「協働」、富士通グループ自身の「変革」をキーワードに、2020年をターゲットとした次の3つの目標を掲げています。

1. お客様・社会全体への貢献：国内で年間約3,000万トンのCO₂排出量の削減に貢献
2. 自らの変革：各事業領域における総合エネルギー効率が世界トップレベル
3. 生物多様性の保全：『ビジネスと生物多様性イニシアチブ*』のリーダーシップ宣言において掲げられたすべての項目を推進

また、これらの目標を実現するため、「お客様・社会全体への貢献」における13のテーマと「自らの変革」における5テーマ、「生物多様性の保全」における2テーマの合計20の取り組みテーマを設定しています。

※ **ビジネスと生物多様性イニシアチブ**：2008年5月、生物多様性条約第9回締約国会議（COP9）のなかで、ドイツ政府が民間企業に生物多様性へ関与することを求めて発足したもの。富士通もリーダーシップ宣言に署名している。

 中期環境ビジョン「Green policy 2020」
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/approach/vision/>

富士通グループは、低炭素で豊かな社会の実現に向けて、テクノロジーとノウハウを結集し、お客様やパートナーとともに、自らと社会の環境イノベーションを起こします。



グリーンICTによる環境負荷低減プロジェクト 「Green Policy Innovation」

富士通グループでは、2007年12月からグリーンICTの提供による環境負荷低減プロジェクト「Green Policy Innovation」を推進しています。

Green Policy Innovationは、富士通グループが培ってきた環境保全に関するテクノロジーやノウハウを活かしたソリューション、ICTインフラをお客様に提供することで、お客様や社会全体の環境負荷低減をめざすものです。

また、2009年12月には、Green Policy 2020の達成に向けて、グローバルに事業を展開する企業グループとして、世界全体の温室効果ガス排出量削減に大きく貢献していくために、「2009年度から2012年度の4年間で累計1,500万トン以上のCO₂排出量削減に貢献」というグローバル目標を設定しました。目標の達成に向けて、世界各地のグリーンICTを共有・活用しながら、Green Policy Innovationをさらに進化させていきます。

-  **グリーンICTによる環境負荷低減プロジェクト**
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/green-it/>
- プレスリリース：グローバルなグリーンITプロジェクトにより、お客様や社会のCO₂削減に貢献**
<http://pr.fujitsu.com/jp/news/2009/12/7.html>

Green Policy Innovation

お客様や社会の環境負荷をICTで低減
2009～2012年度
累計1,500万トン以上のCO₂削減に貢献
(グローバル目標)

